

議員が ただ 質した

平成28年度
決算

212のこと

Heisei 28th Closing Question

本年度スタート 子育て応援ナビの利活用を

Q 子育て支援に関する情報配信はもちろんだが、保護者を対象としたがん検診等の案内も加え、充実を図つては。

A 200人超の登録を受けていますが、保護者の年齢等は把握していません。また、対象となる各種検診情報をどこで得たか等の分析もしていません。

民生・児童委員の委嘱替えは

Q 本年度、新たな1期3年の委嘱期間がスタートしたが、活動への支援は。また、それらを支える役割として「地域福祉委員」の取り組みも始まったとのことだが。

A 月に1度の定例会で、事例

事故に巻き込まれないよう注意喚起はもちろんですが、不審者対応等の講習会を企画しています。万が一のため、傷害・賠償保険にも加入しています。

Q 子供の安全を守る「1子どもあんしん110番の家」の看板等の状況確認は。

A 現在約500件の登録があり

等に関した研修を行なっています。あわせて、県の民生・児童委員協議会主催の各種研修を案内し、モチベーションやスキルの向上につなげているところです。また、地域福祉委員についても、現在97人が委嘱を受け、高齢化等の課題を共有・理解し、前向きに取り組んでいます。

Q 運営委員会で話し合われた現状と課題の中で、食物アレルギーに関する対策は。

A 食物アレルギーのマニピュ

りますが、定期的な確認等は行なっていません。今後、活動の実態と看板の確認を行ないます。

Q 中央公民館の機能の一部を町民会館運営費

A 保存に関しては、条例の見直しを含めてしっかりと取り組みます。また、活用の面では、スマートメディアに取り上げていたマスクのような取り組みも考えたいです。

下里青山板碑製作遺跡

ルを作成しており、28年度途中から対応しています。今後も保護者への説明を丁寧に行なつてもらいます。

Q 保存や活用方法をどのように考えているのか。

A 町直営になつて3年目でしたが、運営費を抑えながらでも町民に喜んでいただけた催し物を考えました。

Q 地方税法15条7の5項（主として会社廃業や相続放棄が欠損処理要件）を適用し、即時欠損処理を行いました。

A されたが、その判断基準とは、移すこと計画中であるが、本年度の取り組みの振り返りを。

Q 青年就農給付金（経営開始型）を利用した12人の農業従事者。傾向等は。

A 12人全員が有機農業に取り組まっています。ここ20年来にわたって有機農業者のイターンが目立ち、特に当町では若い新規就農者が増えています。小川型農業を支えていただいているとても心強く感じています。小川

9月定例会は「決算議会」と称され、前年度の一般会計及び特別会計の審査が中心となります。事業や執行状況について、議員が質した質疑総数は212！ここでは皆さんに身近な事業をピックアップしてお伝えします。熱のこもったやり取りを、会議録とあわせて、ぜひご一読ください。

すべての項目は、町ホームページの「会議録の検索と閲覧」ページでご覧いただけます。（9月定例会の会議録は11月末ごろ掲載予定です）

Mini Column
オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考え方
「議会だよりのいいところ・悪いところ」



日々子供達の登下校を見守ってくださるウルトラ防犯パトロール隊。ベストを着用し交差点にいれば、事故や犯罪の抑止につながるそうです。

Q 法人町民税額が町民税総額の1割程度にしか満たない状況下、企業誘致を中心とした税収増を図るのか。

A 企業誘致は、県の田園都市づくり課と有効な土地活用について協議しています。また、町内外中小企業や商店へは、空き店舗を活用した創業支援と、観光・交流人口を増やす手立てを検討します。

Q 長年の懸案事項であつた大口3社の特別土地保有税の滞納、内1社においては、公売により一定の滞納整理ができたのではないか、と評価する。一方で、1億円を超える不納欠損処理が

健全な財政運営と企業支援 積極的な取り組みを

Q 防犯ボランティアの高齢化に伴い、みずからが事故に巻き込まれてしまふ事例がある。当町の対策は。

A 現在町では818の方に、ウルトラ防犯パトロール隊として協力をいただいています。

事故に巻き込まれないよう注意喚起はもちろんですが、不審者対応等の講習会を企画しています。万が一のため、傷害・賠償保険にも加入しています。

Q 子供の安全を守る「1子どもあんしん110番の家」の看板等の状況確認は。

A 現在約500件の登録があ

りますが、定期的な確認等は行なっていません。今後、活動の実態と看板の確認を行ないます。

Q 中央公民館の機能の一部を町民会館運営費

A 保存に関しては、条例の見直しを含めてしっかりと取り組みます。また、活用の面では、スマートメディアに取り上げていたマスクのような取り組みも考えたいです。

Q 地方税法15条7の5項（主として会社廃業や相続放棄が欠損処理要件）を適用し、即時欠損処理を行いました。

A されたが、その判断基準とは、移すこと計画中であるが、本年度の取り組みの振り返りを。

Q 青年就農給付金（経営開始型）を利用した12人の農業従事者。傾向等は。

A 12人全員が有機農業に取り組まっています。ここ20年来にわたって有機農業者のイターンが目立ち、特に当町では若い新規就農者が増えています。小川型農業を支えていただいている

ホームページからデータとして見られるので、紙媒体は必要ないのでは？印刷代が無駄だと思う。



表紙のモデルになつてみたい。笑顔に自信があります。

(M・Kさん・39歳)

吹き出し、説明文があるところ。



(T・Kさん・65歳)

お年寄りには字が細かいのでは？最初は二度見しちゃいました。ホントに。斬新なデザインが良。



(N・Oさん・38歳)